

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度第3回3市ごみ減量推進市民会議		
事務局 (担当課)	日野市ごみゼロ推進課、国分寺市ごみ減量推進課、小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和2年2月18日(火)午後2時00分～		
開催場所	日野市東部会館2階会議室1・2		
出席者	委員	<出席者：15名> (学識) 宮脇委員長 (日野市委員) 伊地知委員・伊藤委員・小野寺委員・佐藤(美)委員 (国分寺市委員) 石垣委員・佐藤(幸)委員・宮寺委員・八ツ藤委員 (小金井市委員) 石田委員・林委員 (行政) 高尾委員長代理(日)・波岡委員(国)・小野委員(小) 井上委員(浅) <欠席者：2名> 波多野委員(小)・山田委員(小)	
	事務局	日野市：渡邊センター長・佐々木課長補佐 国分寺市：中村部長・佐藤係長・大野主事 小金井市：柿崎部長・大久保係長・高田係長	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	6人
会議次第	開会 1 あいさつ 2 議事 (1) 各グループにおける検討結果報告について ①情報グループ ②減量グループ (2) 検討結果の提案について (3) その他 閉会		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

	<p>1 あいさつ 宮脇委員長よりあいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 各グループにおける検討結果報告について</p> <p>①情報グループ 八ツ藤リーダーより提案書等に基づき説明</p> <p>・質疑 市民会議メッセージの下から3行目、この部分から「情報提供」がこの活動のメインであるということはいくみ取れるが、その前に「ごみ減量施策」とは言っているが、これも「情報提供」に入っているのか。</p> <p>八ツ藤委員 情報提供は「ごみ減量施策」「新施設稼働状況」両方にかかる。</p> <p>林委員 「稼働状況の情報提供」はしっかり情報提供なのだが、「ごみ減量施策」は、うしろの「提案を行ってまいります」というところにもっとかかってくると思う。「稼働情報の情報提供」と「新たなごみ減量施策のありかたの提案」というように切り分けたほうがよいのではないか。</p> <p>八ツ藤委員 いずれにせよ市民会議は「提案」はできないので、「提案」も情報として、市民目線で情報提供をしていくという意味だ。</p> <p>林委員 「情報提供について提案を行ってまいります」という文言の流れのニュアンスが分からない。</p> <p>宮脇委員長 文章の流れの話なので、具体的内容にはご賛同のとおりだと思う。実際に掲載されるときには文言の精査などをするので、林委員のご意見は受け止めさせていただく。</p> <p>②減量グループ 小野寺リーダーより提案書等に基づき説明</p> <p>・質疑 2頁の表3、5頁の表5に年度比とあるが、「比」というのは%表示等で使うものであり、この場合は「差」ではないかと思うので直したほうがよい。</p> <p>石田委員 「比」は使ってもよいのではないか。</p> <p>小野寺委員 「比」は使ってもよいが、それであれば%にすべき。</p> <p>石田委員 増減も「比」である。</p> <p>小野寺委員</p>
--	---

石田委員	増減は数学的に「増減」。最近、間違った使い方が良くされており、NHK 等でも「前日と比べて」を略して「前日比」といっていたりするがあれは間違えである。
宮脇委員長	一般的な記載にしていいただければと思う。
石田委員	「増減」としたほうが非常に明確で「(t)」もいない。
小野寺委員	それでは「増減」とする。
宮脇委員長	最終的に残すものについては単位の修正を宜しく願います。
宮脇委員長	約 10 年間で半減という、かなり頑張る目標値となっており、具体的に数字も例としてあげていただいているので、これを受け取られる各市の担当部署では強く推進をするということをお願いしたいと思う。全体的にとりより、数か所、かなりチャレンジングな数値がいくつかあるので、頑張っていければと思っている。
林委員	質疑というより意見だが「委員会を設置して新たなシステムを検討しましょう」「従来の取組みの強化」に対して。「従来の取組みの強化」はあくまで「従来の取組み」。これは同じことを皆さんに取り組んでもらうということになるのだが、結局のところ従来の取組みをずっと繰り返しているだけで、なかなか広がっていかない。どうやって浸透させていくのか、それが一番の肝ではないか。各市で多少やり方の違いがあるので、それぞれの取組みを紹介しあうなど各市の「良い所取り」を目指して、それをどうやって自分の市で浸透させていけるか。どこの市も多分普通にできることはやってきていると思うが、さらに一步踏み込んで「何ができるか」ということを考えてやっていかないと、絵に描いた餅になるという感じがする。
八ツ藤委員	林委員のおっしゃる通りだと思う。来年度の市民会議に引き継ぎ、深掘りをしてもらうそうだ。あまり壮大な目標を考えていても、できるところから、目先の問題をまずやる、ということで、来年度のテーマとしては各市のいい所を全部洗い出ししてそれでお話ができないか。そういう形での提案を市民会議がやられたらどうかと。長期的なもの、目先はどうかということのを来年度は分けていただいたほうが、来年度の問題ではあるが、そのほうがよろしいのではというように感じた。
小野寺委員	2 人の意見に賛成。モチベーションを高めるということである。そのために何をやったらいいのかということだが「10 年間で半減する」というような目標を掲げるという狙いもある。もうひとつ、生ごみや紙おむつの資源化等、今まで手を付けてなかったことへのチャレンジを市民に見てもらうことで、モチベーションを高めることができる。「10 年間で半減する」というのは決意を示すこと。こういったことが大事だと思う。

宮脇委員長

良い事例があっても、例えば、かなり努力している一部の自治体が 80～90%を超えるような資源化率になっているからといって、それをそのまま我々が実行できるかというとは簡単にはできない。それが、全国的に資源化率が伸び悩んでいる原因ではないかと感じている。小さな努力ではあるが、それぞれの取組みのうち「ある自治体で当たり前に行っていることが、よそではやっていない」ということを相互にやっていくことで、資源化の割合を上げたり、発生抑制をすることができるのではないかと。「深掘り」というのはまさにその通りで、そこを目指して、取組み事例をこちらから持ち寄る、メンバーとして入っていない方の意見も集約する、Web 上で取組みの事例を教えてもらう等、色々情報を集める方法があるので、それらを行うのがよいのでは、というのが私の感想である。

佐藤（美）委員

減量のことを考える時、「深掘り」というのはやはり「ごみをどう減らすか」ということだと思うが、今はやはり「横」だと思う。最近 SDGs の目標が、若者の間で浸透しつつある。「サーキュラーエコノミー」という考え方で、今までのただ「黙々とごみを減らす」「リサイクルして物を活かそう」という閉じた循環だけではなく、もっとおしゃれなものにして買ってもらえるモノづくり、生ごみをただ燃やしてしまうのではなくレストラン等、アップサイクルで若者が経済的な意味でも儲かるお店を作って循環型の社会を目指そう、という動きも出てきている。ごみの専門家ばかり集まるよりも、異分野の人たちと連携してやっていこうというのが SDGs の考え方。多くの人と交流しながら、委員長がおっしゃったように色々な情報を提供してもらったり、それを活かしていくような、市民も行動するような場に変えていければよいのではと思う。

小野寺委員

今年の 7 月から容器包装リサイクル法の省令を改正してレジ袋の有料化をするが、有料化の対象は従来のレジ袋だけで、例外としてバイオマス系の袋や何度も使える厚手の袋、海の中で分解する袋は対象にしていない。スーパーは有料化が進んでいて 55%の企業が行っているが、コンビニやデパート等は有料化すると手を挙げている所はごく僅か。各市がこれからレジ袋の有料化を全面的に実施する方向にもっていくには努力が必要なのではないかと思う。放っておけば先ほど挙げた 3 種類の袋は無料配布される懸念がある。日野市の場合はレジ袋有料化にはかなり前から取り組んでいるが、なかなか全市一斉の取組みという所まで達していないので「マイバック運動」ということで「できるだけ減らす」という取組みを続けている。レジ袋は使い捨ての象徴的な存在なので、ライフスタイルを変えてレジ袋の削減、できれば事業者有料化してもらうというような取組みを進めることによって、市民の方々の意識を変えていくということも考えていったら良いのではないかと思う。

八ツ藤委員

先ほどの審議会メッセージの最後 3 行の件だが、ここは「ごみ減量施策」「新施設稼働状況の 3 市の皆様への情報提供」が並

林委員	<p>列になっており、それを「我々が市民目線で行政に様々な提案を行っていきます」というように言っているが、そう読めないか。</p> <p>何回か読んで、多分そのようなことなのだろう、とは思った。「情報提供」と「提案を行ってまいります」の部分が、つまり「情報提供」というのはひとつのアクションで、提案もひとつのアクション、そこがちょっと引っかかった。</p>
宮脇委員長	<p>これは単純にいうと「情報提供」と「提案」をすることか。</p>
八ツ藤委員	<p>「市民目線で行政に様々な提案」は2つの切り口があり、1つは「ごみ減量施策について提案します」、それから「新施設稼働状況等の3市の皆様への情報提供についてについて提案します」と、これが市民会議の目的なので、それで様々な市民会議で検討して3市に提案します、ということである。</p>
宮脇委員長	<p>「市民目線で」という部分を一旦上に持っていったらどうか。『市民目線で、』ごみ減量施策及び新施設稼働状況等の3市の皆様への情報提供について」というようにすると、誤解される可能性も少なくなり、あまりたくさん書き換えなくてよろしいのではないか。大きく変更するとまた修正点が出てきてしまうかもしれない。また、各市の市報での表現に合わせる等、微細な点については私の方で修正させていただく。</p>
宮脇委員長	<p>本日は多くのご意見を頂いた。若干表現等について修正はあるが、よろしければ最終的に後日修正したかたちで差し替えをし、本日付けで我々の提案としては渡す方向で進めていきたいと思うが、よろしいか。</p> <p>(2) 検討結果の提案について</p> <p>本日付けで3市に検討結果を提案することにご承認を頂いているので、私の方から若干の修正があることを前提に、皆様のお手元にある提案書を、本日市長代理としてお越しいただいている各市の部長の皆様にお渡しさせていただきたいと思う。</p> <p>宮脇委員長より 3市を代表して日野市渡邊クリーンセンター長へ検討結果の提案を受渡しする。</p> <p>(3) その他 各委員より感想</p>